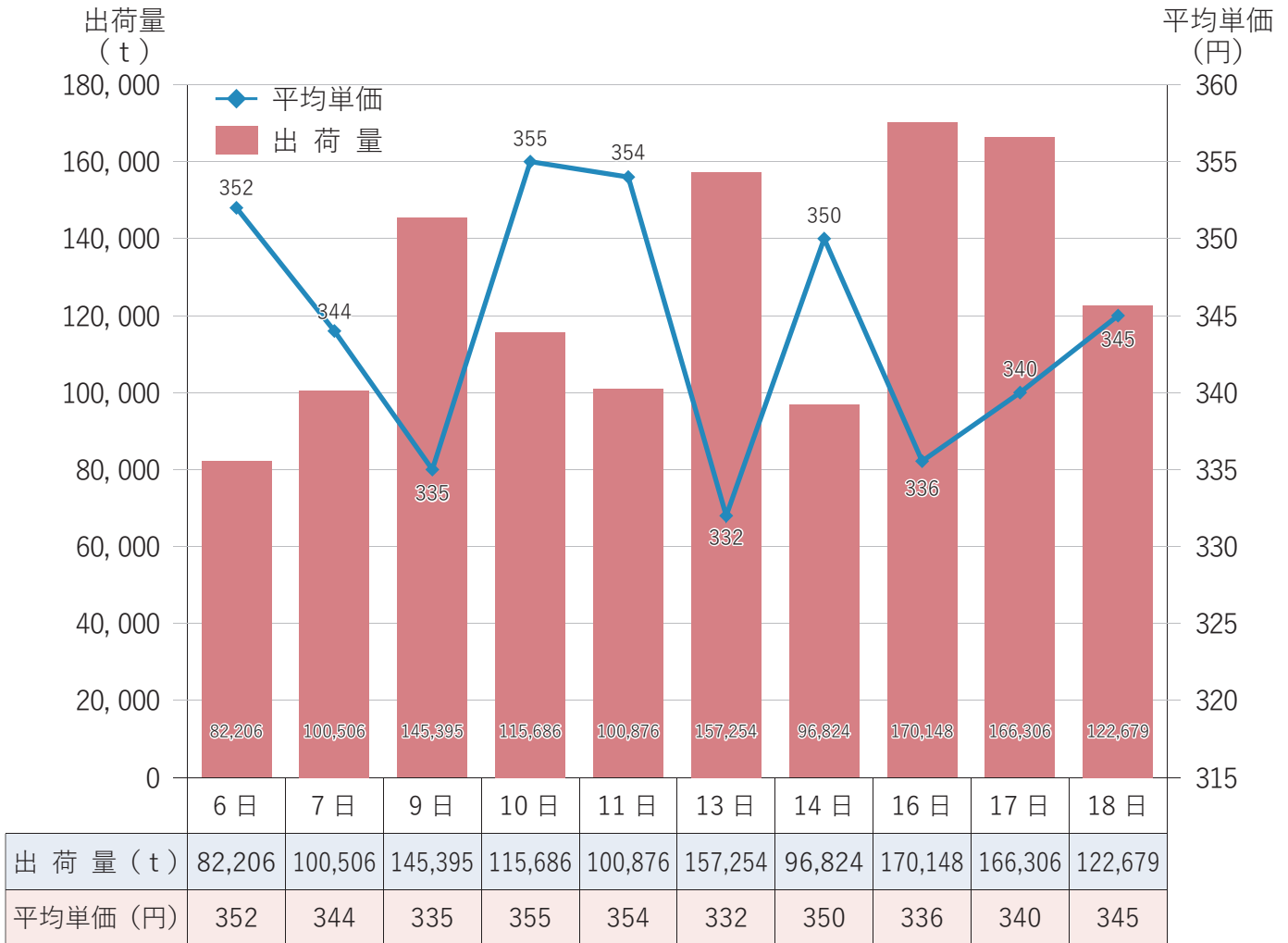


伊方町農業支援センターだより

Farmers' Communication Magazine For IKATA Member's

早生みかんの取引価格好調推移



CONTENTS

1. 表紙 早生みかんの取引価格好調推移
2. 令和5年度 第62回農林水産祭 三賞 (日本農林漁業振興会会長賞) 受賞について
3. 家族経営協定調印式
4. 『伊方町農林漁業振興事業』 中間報告について
5. 『伊方町有害鳥獣被害防止対策事業』 中間報告について
6. 出前授業 (伊方小学校)
7. ニューフェイス紹介
8. 農業者年金に加入しましょう!

伊方町イメージキャラクター
サウソディ



No.40

企画発行/伊方町農業支援センター
〒796-0301 西宇和郡伊方町湊浦1993-1
伊方町役場本庁2階 農林水産課内
TEL (0894) 38-2658 FAX (0894) 38-1373

瀬戸・三崎地域の受付窓口
瀬戸支所地域住民室 TEL (0894) 52-0111
三崎支所地域住民室 TEL (0894) 54-1111

令和5年度 第62回 農林水産祭 三賞受賞！

日本農林漁業振興会会長賞 ～多角化経営部門～



昨年度「令和4年度全国優良経営体表彰事業 働き方改革部門」において、農林水産大臣賞を受賞した株式会社ニューズは、その取組が高く評価され、三賞の日本農林漁業振興会会長賞（多角化経営部門）を受賞し、11月23日、明治神宮会館で開催された第62回農林水産祭式典で表彰されました。

受賞理由は、自身の経験をもとにした働きやすい環境の整備などにより、会社を発展させたこと。また作期が異なる多様な柑橘品種を栽培し、自社で商品開発・販売まで行うことで、周年雇用や顧客ニーズに応じた生産・販売を実現化させたことが評価されました。

農業生産法人 株式会社 ニューズ 代表取締役 土居 裕子 氏 コメント

今回、このような賞をいただくことができ、感謝申し上げます。この栄誉は、日頃から弊社を支えていただいておりますお客様、協力企業の皆様や地域の皆様、行政関係の皆様のお力添えの賜物だと思っております。

「本気のみかんで幸せを届ける」という想いのもと、常に前向きに、将来に希望が持てる農業経営を行うという経営理念を忘れず、スタッフとともに成長できる会社として一歩ずつ前進しています。今後さらに日本の農業界のために精進してまいりますので、ご鞭撻よろしく願いいたします。

この度は誠にありがとうございました。





令和5年10月某日、伊方町役場にて家族経営協定の調印式が執り行われました。今回の調印式は、夫婦や親子などで締結することが多いなか、祖父母（金山さん）と孫（三好さん）が家族経営協定を締結する、非常に珍しいケースです。祖父母から孫へ経営継承といったことを考えている方には、非常に興味深いケースではないでしょうか。今回のように、若手後継者へ経営継承を考えてみてはいかがでしょうか。



家族経営協定とは、家族で話し合い、仕事も家事も協力する。そんな約束を文章にして、夫婦や家族で「協定」を結ぶ。実はこんな仕組みを国が公式に勧めている。農家で広がる家族経営協定といわれるもので、締結数はこの20年で約3倍に増え、全国で6万件に及びます。

「伊方町農林漁業振興事業」について

令和2年度より開始しました、伊方町単独の補助事業「伊方町農林漁業振興事業」の今年度の実績を報告します！

補助要件等を確認のうえ積極的な活用をよろしく申し上げます。



R5実績 11/22 現在

- ◆ 件数 40件
 - ◆ 総事業費 13,201,969円(税込)
 - ◆ 補助金額 3,942,000円
- ※今年度の予算上限は500万円です。予算が少なくなっておりますのでお早めに!!

補助金額

- 総事業費(消費税を除く)から5万円を引いた額に対し、下記の補助率を掛けた金額(千円未満切り捨て)。
- ◆ 認定農業者 1/2以内
 - ◆ その他農業者 1/3以内
- ※ただし、1件当たり補助金額50万円を上限とし、単年度で1経営体あたり1申請とする。

補助概要

農林漁業者(法人を含む)の機械・設備投資に対し、事業費の5万円を超える部分に補助を行います。

※町税等の滞納者は補助対象外となります。

補助対象機械・設備等

- ◆ 農業の生産活動に要する機械、設備とする。
- ◆ 下記の機械等は審査会ですでに承認されています。
 - ・電動一輪車
 - ・電動剪定ばさみ
 - ・レール更新(資材費のみ)
 - ・防風ネット
 - ・ハウス用巻き上げ機
 - ・ウッドチップパー
 - ・動噴セット
 - ・耕運機
 - ・ハウスのビニール
 - ・選果機等

本事業で整備された機械



電動一輪車



電動剪定ばさみ

「有害鳥獣被害防止対策事業(町単独事業)」について



R5実績 11/22 現在

- ◆ 件数 29件
- ◆ 総事業費 3,603,541円(税込)
- ◆ 補助金額 1,595,000円

目的

近年、鳥獣被害(イノシシ)が山間部だけでなく集落付近にまで及んでいることから農業者だけの問題ではなくなっています。そこで、被害防止設備の支援を実施することにより、全町民が鳥獣被害対策に関心を持ち自主的に対策することで被害を抑制することを目的とする。

メリット

購入後、すぐに手続きが可能となるため必要な時に早急に整備が可能となる。

※予算限度額に迫っております。お急ぎでなければ、来年度の申請をおすすめします。

昨年度より開始しました、伊方町単独の補助事業「有害鳥獣被害防止対策事業」の実績について報告します。

今年度も事業を実施する運びとなりましたので、補助要件等を確認のうえ積極的な活用をよろしくお願いします。

1	補助対象者	<ul style="list-style-type: none"> ① 町内に住所を有する者 ② 町税等の完納者
2	補助率及び条件	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業費(税抜)の1/2以内 ② 1件当たり補助金額10万円を上限とし、年度内1申請とする。 ③ 1,000円未満の端数は切り捨てとする。 ④ 申請は、購入後に領収書及び写真を添付して提出。
3	受期付間	<p style="text-align: center;">随時受付</p> <p>※ただし、令和5年4月1日～令和6年3月31日までに事業(支払い)を完了したもので、予算に限りがありますので、申請を受け付けられない場合があります。</p>
4	対象備	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋柵・電気柵・防鳥ネット(重複申請可能) ※資材費のみが対象で設置費は対象外
5	その他	<p>急を要しない農業者については県単事業(1戸から可能)の活用をお願いします。</p>



中山間部の園地(電気柵)



園地の周辺(鉄筋柵)

∞ 農 Harvest (八西地区一次産業女子組織)



町内の小学校で 食農授業を初開催

農業の担い手が減少する中、女性農業者の目線で子供たち(特に女子児童も)に農業の良さを伝え、かんきつに興味を持ってもらおうと、∞農 Harvest (八西地区一次産業女子組織：代表 飯田衣美)は、今年10月に、初めて伊方小学校3年生児童18人を対象に「食育授業」を開催しました。

会員が画像とともにかんきつの栽培方法やみかんが手元に届くまでの流れを話したあと、収穫時に使う道具に直接触れてもらうなど、農業を体感してもらいました。

特に、採果はさみを握って収穫カゴを背負い、またコンテナには20kg分の荷物を詰め、重さを体感するなど、収穫作業の大変さを知ってもらいました。

児童からは「1本の木からみかんはどれくらい採れますか?」「美味しいみかんは何ですか?」「みかんづくりをしようと思ったきっかけは何ですか?」といったたくさんの質問が出され、会員が1問1問丁寧に答えていました。

また「みかんの種類がたくさんあってびっくりした」「みかんの仕事がよくわかった」といった声が聞かれ、大変好評でした。

会員から児童たちへ「みかん農家になりたいですか?」と質問したところ、授業前はあまり手が挙がらなかったのですが、授業後に同じ質問をしたところ、ほとんどの児童の手が挙がり、関心が高まったことが伺えました。

会員からは、これからの消費者・後継者となり得る子どもたちに対して食農授業を行うことで、かんきつ栽培に興味を持ってもらえることが実感できました。今後もこのような食農授業を続けていきたいと意欲を燃やしていました。

1月上旬にも管内で食農授業を計画しており、今後の女性農業者の活躍に期待しています。



NEW FACE

就農して5年以内の新規就農者をご紹介します！

門田成弘



① 就農したきっかけは？

みかんが好きだったから！

② 農家に対するイメージは？

働き方を自分で選べるイメージ。

③ 今後の目標は？

経営規模を維持・拡大！

④ 伊方町に望むことは？

農業への様々な面からの支援
伊方みかんの魅力発信

⑤ 活用助成金

新規就業者支援対策事業

山西勇輝



① 就農したきっかけは？

祖父母が柑橘農家をしており、今まで一生懸命守ってきた園地を次は、自分が守りたいと考えたからです。

② 農家に対するイメージは？

自分次第で良くも悪くもなる。

③ 今後の目標は？

園地管理の徹底、品質の向上が目標であり、大事なことだと思います。

④ 伊方町に望むことは？

子供が輝ける町にしていってほしい。

⑤ 活用助成金

新規就農者支援対策事業

若い農業者の 皆さん！ 自分の老後 自分で守れますか？

若い
今こそ年金
アクション！

若い農業者の方は、**国民年金の上乗せの
公的な年金「農業者年金」**に加入して
安心して豊かな老後を！

ポイント

1

国庫補助で手厚い支援！
1万円の自己負担で**2万円の積立てが実現！**

ポイント

2

早く加入すれば、**国庫補助が長く受けられる**

ポイント

3

自ら支払った保険料は、
全額社会保険料控除の対象！
さらに**保険料は自由に選べる！**

農業者年金の内容やご相談については、
最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金に
お問い合わせください。

独立行政法人 **農業者年金基金**

● 専門相談員

TEL : 03-3502-3199

● 企画調整室

TEL : 03-3502-3942